編集・発行／福岡市広報課　〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8-1 ☎711-4016 FAX732-1358　印刷／西日本新聞プロダクツ　毎月1日・15日発行（1月15日は休刊）

ふくおか FUKUOKA 市政だより

令和6（2024）年 9/1 No.1761

市動物園にやって来たゾウの親子

今号の主な内容

特集 市動物園にゾウがやって来た …… 1~3
認知症ケアにユマニチュードを …… 4・5
アジアンパーティ …… 6
ハートフルフェスタ福岡 …… 7
情報BOX …… 8~15
区版 …… 16

※本紙掲載の情報は8月19日時点のものです。

・中面折り込み「今年はお済みですか 福岡市のけんしん」

人口 1,655,753人（前月比1,495人増）
男=781,110人／女=874,643人
世帯数 887,374世帯（前月比1,250世帯増）
※人口と世帯数は令和6年8月1日現在推計

面積 343.47km²
ダムの貯水率 91.13%（8月19日現在）

●市役所代表電話 …… ☎711-4111（市外局番は092）
●市政に関するご意見・要望・相談 …… 広聴課　☎711-4067 FAX733-5580
●福岡市政だよりの配布 …… 毎日メディアサービス　☎0120-359-303

市長からのメッセージ

7月30日、待ちに待ったアジアゾウ4頭が市動物園にやってきました。

ゾウが来ると決まって以降、市は、ゾウが快適に過ごせるよう運動場を広くし、丘やプールを整備するなど、環境を整えてきました。

ゾウたちに、約3カ月をかけて福岡の気候や動物園の施設に慣れてもらった後、秋ごろに全面公開する予定です。ゾウの様子はホームページ等で随時発信します。今しばらく、静かに見守ってください。そして、ゾウたちを末永く愛してください。

市は、ますます魅力的な動物園を目指し、ゾウと一緒に成長していきます。

福岡市長　高島宗一郎

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs（エス・ディー・ジーズ）は、持続可能な社会の実現を目指す17の国際目標です。
福岡市は、SDGsの達成に向けたさまざまな取り組みを進めています。

アジアのリーダー都市へ FUKUOKA NEXT

ようこそ福岡市へ
市動物園にゾウがやって来た

7月30日、待望のアジアゾウ4頭が市動物園にやって来ました。現在、新しい環境に慣れるため、トレーニングをしています。全面公開を前に、ゾウエリアの見どころを紹介します。

約四千キロ(メートル)離れたミャンマーから、雄1頭、雌3頭のゾウが市動物園に無事到着しました。そのうち2頭の雌は親子です。6人のチームが、現地から同行した獣医師とマフー(ゾウ使い)から、ゾウとの関わり方を学びながら世話をしています。全面公開は、10月末頃を予定しています。

本来、ゾウは群れで暮らすため、4頭を同時に迎えました

7年ぶりにゾウが仲間入り

ゾウのはな子が平成29(2017)年に亡くなるまで、市動物園には、常にゾウがいました。人気者だったゾウを再び迎えようと、市は、姉妹都市・ヤンゴン市(ミャンマー)との交流の一環として、令和元(2019)年にヤンゴン動物園と動物交流に関する覚書を締結し、受け入れ態勢を整えてきました。

故郷に近い環境を再現

開園以来、初めて迎える雄ゾウのためにゾウ舎を新築し、雌ゾウのために従来のゾウ舎をリニューアルしました。寒い冬でも快適に過ごせるよう、暖房を完備しています。

ゾウたちがストレスなく運動できるように、運動場を以前の約3倍に広げ、園の地形を生かした、高低差約13メートルの丘を整備しました。

水遊びや泥遊びができるプールも設けています。長い鼻でボタンを押したり、センサーに鼻を反応させたりすると、水が出て遊べる仕掛けもあります。

たくさんの穴が開いた雄ゾウ舎の餌壁。見えない所も、鼻を上手に使って餌を探します

ゾウは草や木の枝、野菜、果物などを1日100キログラム食べます。そのため、餌を探して1日の大半を過ごします。故郷にいた時と同じように、自分で餌を探して、好きな時にいろいろな物を食べられるよう、飼育担当が壁の穴や土、砂の中などに隠しています。毎日違った場所に置くことで、ゾウを飽きさせないための工夫です。

市動物園 川越浩平園長(55)に聞きました

「ゾウたちをかわいがって」と話す川越園長

これまで、ゾウの到着を待ちわびる声をたくさん聞いてきました。ようやく皆さんに報告することができ、ほっとしています。4頭とも福岡の気候に慣れ、毎日餌をもりもり食べたり、プールで水遊びをしたり、運動場を歩き回ったりして、のびのびと暮らしています。

初めてゾウを見る子どもたちもたくさんいるでしょう。体の大きさや鳴き声、餌の量、うんちの大きさなどにきっと驚くと思います。ゾウ舎の周りには、生態などを紹介したプレートも設置していますので、こちらもじっくり見てください。

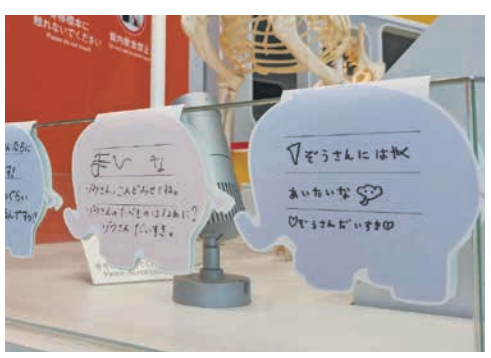
アジアゾウは、森林伐採などの影響で住む場所をなくし、生息数が減っています。今後は、大学等と連携し、飼育下でのアジアゾウの行動などを研究しながら、繁殖にも取り組んでいきます。また、ゾウに興味を持ったことをきっかけに、地球環境を守るために何ができるのかを考える「教育の場」としての役割も果たしていきたいと考えています。

ゾウたちに会えるのも、もうすぐです。ぜひ皆さんで、かわいがってあげてください。そして、私たちと一緒に成長を見守ってください。

◇　◇

ゾウの様子は、ホームページ(「福岡市動物園」で検索)等で随時発信しています。

大人のゾウの体重は2〜5トンほど。大きな体には、たくさんの栄養が必要なため、よく食べます


子どもたちから寄せられたメッセージを「動物情報館ズーラボ」に掲示しています

飼育員さん、ゾウさんのこと教えて

●泥遊びや砂遊びが大好き

飼育担当の白濱祥平さん(32)

泥は、太陽光(紫外線)や虫からゾウの体を守ってくれます。鼻で全身に砂を掛けたり、ごろーんと寝そべって気持ちよさそうに巨体に砂をこすりつけたりするのも、そのためなんです。

泥プールに入って泥だらけ

●鼻がすごいゾウ!

飼育担当の福原晋弥さん(50)

長い鼻を使って水や砂を浴びたり、ゾウ同士であいさつしたり、下に落ちている餌をかき集めてつまんだり—。状況に応じて器用に鼻を使い分けるゾウの動きは面白いですよ。

鼻は筋肉でできているため、自由自在に動かせる

私の色　みんなの色が　かがやく世界へ　(人権尊重週間入選標語　警固中学校2年　藤田(ふじた)　いりあさんの作品)　※作者情報は応募当時のものです。

期=開催日時 開=開館時間 所=場所 問=問い合わせ ☎=電話 F=ファクス 対=対象
定=定員 料=料金 託=託児 申=申し込み ✉=メール HP=ホームページ 休=休館日

ゾウエリアマップ

全面公開まで、一部通行止め区域があります。

北園に通じる陸橋の上から、運動場で遊ぶ雄ゾウが見られる。手前はペンギン舎

雌ゾウ舎内のプールは水深3メートル。鼻を空中に伸ばして、犬かきならぬ「ゾウかき」で泳ぐ

雌の親子。普段はおとなしい、子ども思いのお母さんゾウ(22歳、体高約230㌢)と、いつも元気で遊ぶのが大好きな子ゾウ(3歳、体高約150㌢)

雌ゾウ舎の内部。モニターを設置し、ゾウの健康を管理

雄ゾウ舎に設置された日よけ。ボタンを押すと水のシャワーが出る

4頭の中で一番穏やかな性格の雄(14歳、体高約220㌢)

少しやんちゃな雌(12歳、体高約200㌢)

福岡市とヤンゴン市の姉妹都市交流

福岡市は、平成28(2016)年12月にミャンマー最大の都市・ヤンゴン市と姉妹都市になりました。市はこれまで、JICA(国際協力機構)水道分野専門家としての市職員派遣や、浸水対策などの技術支援、「福岡方式」によるごみの埋め立てなどの技術協力等を行ってきました。

現在は、市内に住むミャンマー人の皆さんとの市民・文化交流を行っています。今年5月3日、4日の博多どんたく港まつりでは、「福岡・ミャンマー友達の会」の協力によって、博多駅前広場でミャンマーブースの出展や民族舞踊の披露などが行われました。姉妹都市交流に関する問い合わせは、国際交流課(☎711-4023 F733-5597)へ。

＼ゾウを支える仲間になろう／

「エレ・ファンクラブ」メンバー募集

ゾウの快適な生活を支援する仲間を募集します。動物園の窓口で、1口1,000円から寄付を受け付けます。寄付をした人には、オリジナルのゾウ缶バッジ=写真=を1口につき1個差し上げます(全4種。種類は選べません)。

寄せられた寄付金は、ゾウの餌代などに使用します。

4口申し込むと、全4種類がもらえます

Fukuoka Zoo 福岡市動物園

所中央区南公園 ☎531-1968(総合案内所) F531-1996 開午前9時～午後5時(9月14日までの毎週土曜日は午後9時まで) ※いずれも入園は閉園の30分前まで 料大人600円、高校生300円、中学生以下と市内に住む65歳以上は無料 休月曜日(祝休日の場合は翌平日)

連載 ゾウさんだより

【第1回】福岡市動物園とゾウの歴史

昭和8(1933)年、福岡市最初の動物園が東公園に開園しました。写真の動物園正門は市民からの寄付で完成したものです。門柱からゾウの鼻が伸びたこのデザインは、現在の動物園正門に継承されています。

昭和19年、戦争の影響で動物園はいったん閉園し、昭和28(1953)年8月22日に現在の場所に開園しました。当時の年間入園者数は50万7,200人(福岡市の人口は約45万人)と記録されています。

開園時、ゾウのブー子(推定9歳)は熊本の動物園から歩いてやって来たそうです。昭和33年にラン子(推定5歳)も仲間入りし、今では考えられませんが、当時は定期的にゾウが園内を散歩する姿も見られました。

ブー子は1953年から1975年まで、ラン子は1958年から1971年まで、続いて1973年に入園したはな子(推定2歳)は2017年まで、おふく(推定25歳)は1975年から2012年まで、ゾウたちは常に動物園の人気者でした。2014年に行われた「どうぶつ えんちょう せんきょ」では、ゴリラやペンギンなどの強敵を抑え、はな子が見事当選を果たしました。

当時の「ゾウの門」は、今も馬出小学校(東区)の校庭に保存されています

◇ ◇ ◇

9月29日㈰まで、動物情報館ZooLab(ズーラボ)でパネル展「福岡市とゾウのあゆみ」を開催しています。

福岡の野球チームを応援しよう! 9月前半の福岡ソフトバンクホークスのホームゲームは、3日㈫、4日㈬午後6時 北海道日本ハム戦、6日㈮午後6時、7日㈯午後2時、8日㈰午後1時 埼玉西部ライオンズ戦です。所みずほペイペイドーム福岡(中央区地行浜二丁目)